

- | | | | | | |
|----|------------------------|----|------------------------|----|----------------------------|
| 4 | 健苗づくりに向けた管理方法を確認しましょう! | 6 | 気象状況に応じた栽培管理を行いましょう! | 8 | 第101回通常総会開催 |
| 9 | トピックス | 10 | 令和6年度「東川町恵みの田園づくり支援事業」 | 11 | 令和6年度 経営所得安定対策交付金 [産地交付金等] |
| 12 | 農業用廃プラスチック処理受入のご案内 | 13 | 人間ドックを受診しましょう | 14 | 来月のカレンダー |

大雪清流 てっぺんだより

JA Higashikawa Public relations magazine Daisetsu Seiryu Teppen Dayori



担い手として 東川町蔬菜園芸研究会 露地野菜部会プロコラー品目長補佐 梶畑 宏弥



5
2024

vol.609



かじはた ひろや
梶畑 宏弥

平成23年に北海道旭川農業高等学校を卒業後、進学し北海道立農業大学校を卒業。その後、平成25年に地元東川町で新規就農。平成30年からJAひがしかわ青年部の役員を務め、令和4年度に露地野菜部会の役員を務める。

Strong spirit of Challenge
担い手としての思い

JAひがしかわ青年部副部長
東川町蔬菜園芸研究会 露地野菜部会ブロッコリー品目長補佐

かじはた ひろや
梶畑 宏弥

令和6年度よりJAひがしかわ青年部副部長を務める梶畑宏弥さんに、これからの営農と青年部活動への抱負をお聞きしました。

農業をはじめのきっかけ

「子供のころから親の農業をみて、いつかは農業をやりたいと考えていました。就農当初は、天候に大きく左右される農業の大変さを実感し、改めて生産者の方々の偉大さを知りました。今では、露地野菜の高温や干ばつ等の異常気象に備え、天候に左右されないよう対策を行っています。また、スマート農業についても勉強し、省力化や品質、収量向上を目指し営農を行っています」

を知ってもらおう食育活動にも力を入れていきたいと考えています。

青年部部員間でも年齢の壁を超え、交流を深め、より良い活動が行えるよう率先して行動していきたい」と力強く語られました。



青年部活動について

「青年部の副部長としての抱負は、渡邊部長を支えつつ、偉大な諸先輩方の活動を軸に、これから先、東川農業の未来を見据えた活動を積極的に展開していきたいです。

昨今の厳しい農業情勢のなか、『東川町農業振興計画（第17次）』で定める『魅力あふれる産地づくりと持続可能な東川農業の実現』に向け、青年部にしかできないことを考え協議し、JAひがしかわ青年部の役割を果たせるよう青年部一丸となって取り組んでいきます。

『ひがしかわライスターミナル（精米工場）』稼働後は、精米工場の機能を活用した商品のPRを目的に販売促進を町内外で行い、『地消地産』活動のもと地域活性化を進めていきたいです。また、学社連携協議会の体験農園を通じ、子供たちに田植えから稲刈りを体験してもらい、食の大切さと町内の農業

露地野菜部会ブロッコリー品目長補佐として

「露地野菜部会では、露地野菜の生産規模拡大に向け、水稲・大豆との輪作体系を構築し、栽培講習会や青空教室を通じて、適切な圃場づくりや生産資材の情報提供を行い、高品質・収量向上を目指します。また、安定的な所得を確保するために、作付け時期に適した品種の選定、販売を意識した計画的な作付けを検討し、機械収穫作業の調査や販路調査を行っています」

2. 本田の準備と移植時の注意点

苗へスムーズな養水分供給が行われるように水田を準備し、初期生育が良好となるよう適切な管理を行いましょう。

○耕起

- ・耕起は、土の養分の保持・供給ができる作土層を作することを目的に行われ、土の乾きが悪い時に耕起を行うと透排水性を悪化させるため、土が乾いている時に実施しましょう。
- ・作土層は12～15cm程度確保するよう耕起しましょう。

○代かき

- ・代かき作業が遅れてしまうと窒素成分が流亡してしまいますので、入水は肥料混和後、(1週間以内を目安)速やかに行いましょう。
- ・均一な多面は、水位の調節が容易となり、除草剤の効果も向上しますので、水面から盛り上がった部分が残らないよう多面をできるだけ平らにしましょう。
- ・過度な代かきは、透排水性を不良にするため注意しましょう。

○移植

- ・深植えは発根や伸長が遅れ、分けつ発生も抑制されるため、植付深さは1.5～2.0cm程度にしましょう。
- ・低温・強風時に移植してしまうと、根がダメージを受けて生育が遅くなりますので、気象情報を確認し作業スケジュールを組み立てましょう。

そば・豆類からの復元田に対する窒素施肥対応

土壌区分	復元後年数	施肥基準に対する施肥量
低地度	1年目	70～80%
	2年目	100%
灰色低地度	1年目	70～80%
	2年目	100%
グライ低地度	1年目	60～70%
	2年目	60～70%
泥炭土	1年目	50～60%
	2年目	50～60%
	3年目	50～60%

(参考:北海道施肥ガイド2020)

3. 基盤整備後圃場

○圃場の変化

基盤整備後1～2年目の水田は工事による土壌の変化により、水稻の生育が旺盛になったり、小出来になったりします。

○土壌診断

基盤整備後の1年目と2年目は窒素施肥量などが普段とは異なるため、良質・良食味米の安定確収のためにも、土壌診断の提出をしていただき適切な施肥量に調整しましょう。

土壌の変化	
乾田効果	根域の拡大 土質の変化 礫の出現 養分の過不足 等々

健苗づくりに向けた管理方法を確認しましょう!

今月は気温の変化が大きくなりやすいため、焼け症状などの高温障害が発生しやすくなります。育苗期間中の急な温度変化に注意し、健苗育成に努めましょう。



1. 健苗をつくりましょう (先月号の続き)

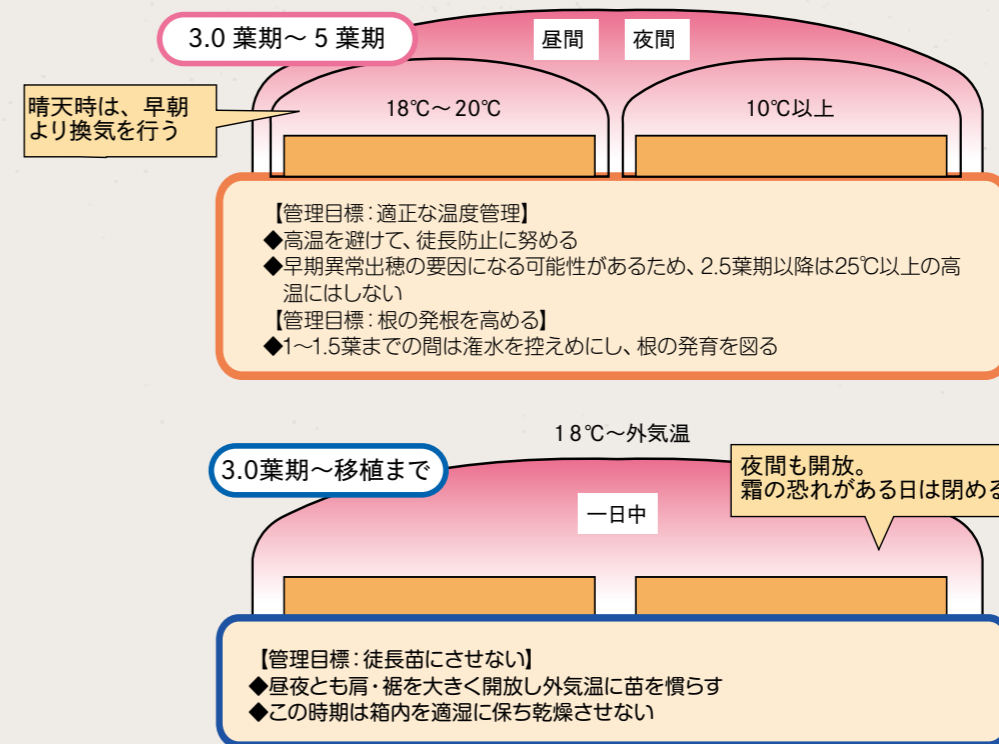
○葉先の水滴を確認しましょう

早朝、ポット苗の葉先に水滴が付くのは、根が床土にある水分を吸収している証拠です。1.5葉期までの過度な灌水は根巻が悪くなってしまいます。根巻が悪くなると軟弱な苗になってしまいますので注意してください。

○夕方の灌水は厳禁

灌水と言えば10時や16時など温度が上がらない時間帯に行うイメージですが、水稻苗については夕方の灌水を行うと、日中に高めた地温を下げるだけではなく、**ムレ苗や立枯病などの病害の原因**になるのでやめましょう。

○1.5葉期以降の苗管理



○「ゆめぴりか」の追肥

「ゆめぴりか」は葉色値が低く、その要因は葉身の窒素濃度が低いことにあります。そのため、分けつの発生が少なく生育するので育苗中(2.5葉期頃)に追肥を行う必要があります。

※マイクロロング肥料を施用している場合は追肥を行わないで下さい

表1 ゆめぴりかの追肥時期と窒素成分量

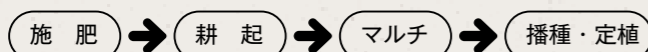
追肥時期	成苗ポット	中苗マット
2.5葉期	窒素分 0.5g / 箱	窒素分 1g / 箱
移植5日前	窒素分 0.5g / 箱	-

2. 露地野菜の栽培管理を確認しましょう

○スイートコーン

- スイートコーンは地温が低いと発芽不良を招く恐れがあります。無理な早播きはせず、マルチ等を利用して地温を13℃以上確保してから播種を行い、一斉に発芽させましょう。

○作業手順

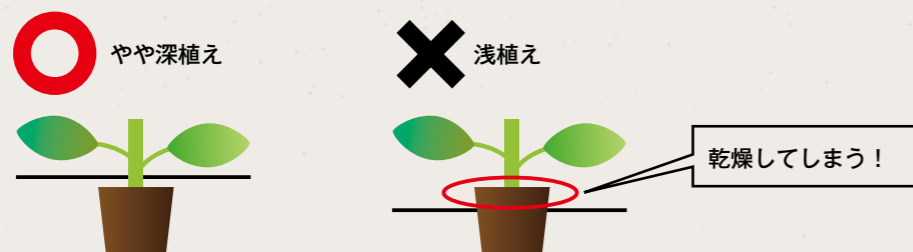


発芽までの日数 (目安)

発芽温度	発芽日数
10～13℃	18～20日
15～18℃	8～10日
21℃	5～6日

○ブロッコリー

- 自家育苗を行う際は、播種前にセルトレイなどの育苗資材を消毒してから実施しましょう。消毒を怠ると「根朽ち病」などの病害発生の要因となります。
- 2.5～3.0葉の若苗を定植しましょう。また、浅植えは乾燥害を受けやすく活着不良の要因となるため、やや深植えで定植を行ってください。



3. ブロッコリー防除基準への農薬追加について

○パレード20フロアブル

- 令和6年度より登録拡大し、「黒すす病」も対象となりました。

○ファンタジスタ顆粒水和剤

- 作物への汚れや薬害リスクが少ない剤です。

ファンタジスタの防除特性

予防効果	治療効果 (病斑伸展阻止効果)	浸透性	浸透移行性	既存耐性菌に対する効果	植物に対する安全性
あり	あり	あり	根部および茎部から上位葉へ	あり	高い

○使用方法 (抜粋)

薬剤	登録作物	適用病害	希釈倍率	使用液量 (10a)	使用時期	本剤の使用回数
パレード 20 フロアブル	はなやさい類	黒すす病	2000～4000倍	100～300L	収穫前日	3回以内
ファンタジスタ 顆粒水和剤		黒すす病 菌核病	3000倍		収穫3日前	3回以内

気象状況に応じた栽培管理を行いましょう!

5月は気温の変化が大きく、5月前半は低温や降霜被害、後半は高温により生育障害を招く恐れがあります。気象情報をこまめに確認し対策を講じましょう。

野菜



1. 露地野菜の圃場準備

ブロッコリーやスイートコーンの播種・定植が始まりますが、発芽・初期生育不良を防ぐために、地温の確保や水はけの悪い圃場は透排水性を改善しましょう。特にスイートコーンは、播種後の地温が低いと発芽不良の原因となるため、露地野菜圃場の準備は早めに行いましょう。

○透排水性の改善

圃場の選定には水はけの良さ悪しを第一に考える必要があります。水はけの悪い圃場は心土破砕や明渠を実施しましょう。排水性が悪いと生育不良につながります。また、通路や枕地に排水路を準備することで大雨などの対策になりますのであらかじめ設定しておきましょう。

○土壌診断を必ず実施しましょう。

露地圃場については、pHやリン酸など成分の低い圃場が散見されております。まだ土壌分析を実施していない圃場については、作付前に必ず土壌診断を実施してください。

○ブロッコリー施肥例 (春・秋定植)

目標pH6.0～6.5

肥料銘柄	施肥量 (kg/10a)	10a 当たり成分量			
		窒素	リン酸	加里	
基肥	NS222	80 kg	9.6	9.6	9.6
	ON10	14 kg	1.4	0.6	0.4
追肥	NS248	20 kg	4.0	0.8	1.6
合計			15.0	11.0	11.6

※基肥にマイフィッシュを使用する場合は「30kg/10a」で施肥

○スイートコーン施肥例

目標pH6.0～6.5

肥料銘柄	施肥量 (kg/10a)	10a 当たり成分量			
		窒素	リン酸	加里	
基肥	S380	100 kg	13.0	18.0	10.0
追肥	硫安	30 kg	6.3		
合計			19.3	18.0	10.0

※硫安の追肥時期は、4～5葉期

※上記のほかに使用したい肥料等ございましたら購買指導課までご相談をよろしくお願いいたします。

第101回通常総会開催

4月12日（金）、JAひがしかわ本部事務所2階ホールにて第101回通常総会を正組合員433名のうち354名（本人出席62名、代理出席8名、書面による出席284名）参加のもと開催いたしました。議長に選任された東部農事組合浅沼浩一氏、第三地区農事組合佐竹国広氏の議事進行により、議案第1号から議案第7号全ての提出議案が原案どおり可決承認されました。その後、「特別農政対策にかかる特別決議」を提案し承認を頂きました。また、樽井会長より情勢報告と、牧組合長より挨拶がありました。



提出議案並びに特別決議

- 議案第1号 「任意積立金の積立金額の変更について」
- 議案第2号 「令和5年度事業報告、剰余金処分案の承認について」
- 決算報告 「令和5年度貸借対照表、損益計算書、及び注記表並びに会計監査人及び監事の監査報告について」
- 議案第3号 「定款の一部変更について」
- 議案第4号 「令和6年度事業計画の設定について」
- 議案第5号 「賦課金の賦課及び徴収方法について」
- 議案第6号 「役員報酬の支給について」
- 議案第7号 「第17次東川町農業振興計画及び第19次中期経営計画の設定について」
- 報告事項 「労働保険事務組合の令和5年度の徴収・納付状況の報告について」
- 特別決議 「特別農政対策にかかる特別決議」

情勢報告

JAひがしかわ会長理事 樽井 功



第101回通常総会にあたりまして、せっかくの機会でございますので、情勢報告を申し上げます。まずもって、組合員の皆様におかれましては、時節柄何かとご多用の中、通常総会へご出席賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

昨年は、春から夏にかけて高温が続き、農作物の生育や品質への影響が大きく出た年となりました。さらに「農業関連資材の高騰」という経営的に大変厳しい状況が続いていますが、組合員や地域の利用者との信頼関係の強化、また、役員が一丸となって責務を全うした結果、令和5年度決算では一定の成果を残すことができたこと認識しています。

後ほど、詳しい説明があるかと思いますが、令和5年度の実績においては、組合員の皆様の結束力強化と、東川町をはじめ関係機関の皆様と一体となった活動が実を結んだ証であり、このことに敬意を表するとともに、改めて感謝申し上げます。

さて、最近の農業とJAをとりまく情勢につきまして、何かお話しさせて頂きたいと存じます。はじめに農政関係についてであります。

全国のJAグループの農政組織である全国農政連では、現在、JAグループ代表として現職である参議院議員 山田としお氏が退任することとなり、来年度夏の参議院選挙に向けて、引き続きJAグループの候補者を擁立することとなりました。これを受け、北海道のJAグループで組織する北海道農協政治連盟では、本道農業・JAを取り巻く環境が厳しさを増す中、「北海道から農民代表を国政に送るべき」との意見を踏まえ、現在ホクレンの代表監事、JA道北なよろの会長である東野秀樹さんを全国JAグループの推薦候補者とすべく、擁立した経過にあります。

農地対策、物流 2024年問題など様々な課題が山積しております。

このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、この難局を乗り越える必要があります。

また、消費者の皆様に対しても、農業・食に対する更なる理解を深めてもらうためにも、JAグループ北海道統一の情報発信のフレイズである「アグリアクション北海道」を浸透させ、「国民が必要とし、消費する食料はできるだけその国で生産する『国産消費』」に対する理解を求めることで、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となり、組合員・役員が一丸となってしっかりと取り組んでいくことが必要となります。JAグループ北海道としましても、当JAの取組みを全力でサポートして参ります。

結びになりますが、本年が豊穡の秋を迎え、そして皆様のご健勝であられることを心から祈念申し上げ、情勢報告とさせていただきます。

組合長挨拶

代表理事組合長 牧 清隆



通常総会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。組合員の皆様には大変お忙しい中、多数のご出席を得て、ここに第101回通常総会を開催できますことを心より感謝申し上げます。

本日は、公私ご多忙中にもかかわらず、東川町 菊地町長、東川町議会 能登議長をはじめ、町内外の農業関係機関・団体、ならびに各産業団体の代表の皆様方、

また、JA組織より、ホクレン旭川支所の南支所長をはじめ、JA系統機関各位のご臨席を賜り、高い席からではございますが衷心より厚くお礼を申し上げます。

先ほど、農政に関する情勢報告をいただきました樽井会長におかれましては、北海道農業の先頭に立ち、日々全道・全国でご活躍されておりますことに対し、心から敬意を表するとともに、本日もお忙しい中、駆けつけていただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年を振り返りますと、依然としてロシアによるウクライナ侵略は未だに続いており、さらには、イスラエルとハマスの軍事衝突が勃発したことにより世界経済への影響は大きく、原油や物価高騰は続いています。また、先月、マイナス金利政策が解除されましたが、日米の金融政策には大きな隔たりが残っており、依然として円安圧力が続いていることから、今後生産資材や燃料などの高止まりが予想され、農業経営には甚大な影響を与えることが予想されます。

当JAでは、令和5年度より貯金量200億円以上のJAとして、公認会計士による「会計監査人監査」の実施や常勤監事の配置等が義務付けられ、これら運用体制の整備を図って参りました。道内の各JA同様、当JAにおいても、その監査人には「みのり監査法人」を選任し対応していますが、計算書類などの決算監査の日程を出来る限り早期に進めて参りましたが、どうしてもスケジュールの組み直しが余儀なくされ、本日の総会開催となりましたこと、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

令和5年度も低金利情勢下ではありましたが、組合員や地域の皆様のご利用と東川町からの公金取扱へのご協力をいただき、貯金は、当初計画を超える20,909,324千円、貸出金は4,390,635千円の実績となりました。

関連して、共済事業では長期共済保有高の減少傾向

全国段階では、千葉県からも立候補者が出ましたが、組織内で予備投票を行った結果、東野秀樹さんがJAグループの組織内候補として決定いたしました。今後は、全国JAグループの代表として活動いたしますが、東野さんは私どもの声を国政にしっかりと届けてくれるものと確信しており、そのためにも、地元北海道として支援の輪を広げていく必要があります。

ご案内の通り、本日の議案終了後には、今後に向けて決議を行う予定としておりますので、組合員の皆様方のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

次に、「食料・農業・農村基本法」の改正に向けた動向についてであります。本年3月26日、政府提出の基本法改正案が、四半世紀ぶりの改正に向けて衆議院本会議で審議入りしました。坂本哲志農林水産大臣は、基本法改正案の閣議決定の際には、「気候変動による異常気象や、世界の人口増加などを背景に食料需要が増加し、これまでのように自由に買い付けができなくなってきた。さらに各地の紛争や新型コロナウイルスによる物流の混乱など、貿易の不安定による事象も生じている。こうした情勢の変化を踏まえ、一日も早い法案成立を目指して尽力していく」との強い危機感をもって臨まれております。

現在、日本の食料自給率は38%であり、我が国の食料を安定的にどう確保するか、今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっております。

JAグループ北海道としては、日本の食料基地であるという使命感に立ち、国民の命の源である食を守り続けるためにも、北海道をはじめ関係諸団体と連携しながら、しっかりとその対応を図って参ります。

次に、本年は3年に一度となる、第31回JA北海道大会を開催する年であります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、とりわけ水田活用直接支払い交付金の見直し、担い手・

が続いており、期末保有高は29,049,946千円の実績となりました。

農産物を取り巻く環境では、昨年は記録的高温が続き、農産物の生育に大きな影響が出ました。水稲では、草丈や莖数ともに平年並みで生育しましたが、国が示した管内の作況指数「105」までの実感はなく、高温被害と収穫作業目前での強風による倒伏被害により、等級やタンパク値の品質面では、近年にない厳しい結果となりました。さらに、青果物も春先から産地の切り替わりが順調に進み、安定した市況価格で推移はしたものの、高温や大雨、強風などの影響により、特に露地野菜では生育障害や病害虫の被害が発生したことから、収量と品質の低下を招きました。

このことから、大幅な収穫量減少となりました「ゆめびりか」や「青果物」と、肥料や段ボールなどの生産資材の高騰による収入減少に対して、組合員の農業経営継続を最優先に考慮した中、当JAの独自支援対策として、「農産物の収量・品質被害と生産費高騰に対する特別支援金」の給付を実施いたしました。

東川町からは、一般の農業情勢にご理解をいただいたなか、昨年に引き続き、肥料価格高騰対策支援事業として支援金対策を講じていただきました。当JAでも令和5年肥が4年肥対比70%と値上げになったことから、継続して国や道、JAグループへの支援要請や取扱手数料の引下げ、大型規格の推進など、資材供給価格の抑制に努め、令和5年度の肥料・農薬などの取扱高は873,705千円と計画を下回り、油類取扱実績621,152千円、農業機械・車輛の取扱高519,013千円の実績となりました。

昨年11月18日に、当時現職の宮下一郎農林水産大臣がJAへの現地視察と意見交換を目的に来町され、建設中の「ひがしかわライススターミナル精米棟」の視察や「ひがしかわアグリ2050宣言」の取り組み、東川米の輸出事

令和6年度新入組職員入組式



4月1日(月)、新たに3名の職員が入組し、農協2階ホールにて入組式が行われました。緊張した面持ちの新入組職員に対し牧組合長より激励の言葉が送られ、その後、辞令交付が行われました。式の最後には各部長より事業説明が行われ真剣な眼差しで説明を受けていました。新入組職員の紹介については、13ページをご覧ください。

「東川農業の未来について」菊地町長と牧組合長の対談



4月10日(水)、今年度は町の「東川町新まちづくり計画2024」と、JAの「第17次東川町農業振興計画・第19次中期経営計画」が遂行する節目であり、7月より「ひがしかわライスターミナル(精米工場)」が稼働することから、菊地町長、牧組合長が『東川農業の未来について』をテーマに対談を行いました。対談は、現在町内で進められている国営緊急農地再編整備事業の成果と期待について、輸出用米、資源米(ライスレジン)の取り組みなど、様々な内容について対談されました。

菊地町長は、「自然が豊かで、農村景観が素晴らしいのが東川町の魅力であり、農業が強固なものとして確立していることから、他業に携わる人たちも豊かに生活できていると思います。町も、農業を持続可能なものにするため、しっかり支援

していきたい」牧組合長は、「生産者を支援し、地域住民の方にもこの町にJAがあって良かったと思われるよう、地域一体となった事業を展開していきたい」と話されました。対談の詳細内容につきましては、町広報5月号に掲載していますのでご覧ください。

北海道米播種祭齋行

4月11日(木)、(株)東川農業振興公社にて、全道水稻作生産地の豊作と農作業の安全を祈願し行われる北海道米播種祭が齋行されました。播種の儀では、菊地町長、夏井JA北海道中央会調査役、梶畑東川町農業委員会会長、林神饌田協賛会会長、牧組合長より播種された育苗箱が温床ハウスに並べられました。菊地町長より「東川米が北海道、全国にブランド力を誇るお米として今まで振興されてきたことについて関係者の皆様に改めて感謝をしたい」と話されていました。



購買指導課よりお知らせ

ひがしかわもみ穀堆肥の紹介

○植物性堆肥と動物性堆肥を混ぜ合わせていることで、窒素やリンなどの栄養素を含み、土壌の物理性の改善や土壌微生物の活性化などの土壌改良効果も期待できます。

※土壌の物理性→通気性・排水性・保水性などをまとめた名称

・微生物が活性化すると、連作障害の可能性を減らしたり、団粒構造の生成が促進され土壌の通気性や排水性の改善に繋がります

堆肥の購入は、購買指導課(Tel.82-2054)まで

原料	もみ穀・牛ふん・豚ふん ※生産の際、重量の大きい順	
主成分の含有量等	窒素全量	0.7%
	リン酸全量	0.8%
	加里全量	0.8%
	炭素窒素比	21

業などについて、意見交換を行いました。加えて、本年2月6日には、政権与党本部で開催されました「農産物輸出促進委員会」に直接招かれ、当JAの輸出事業や今後の精米加工による海外戦略構想への説明、国への継続的な支援要請についてご理解をお願いして参りました。昨年の東川米の輸出実績では、香港、アメリカ、台湾、中国、ベトナム、フィンランド、オランダなど9か国、440t以上の実績となり、さらに令和6年度は700tを超える海外での販売展開を計画しております。

昨年の第100回通常総会にて承認され、現在建設中の「ひがしかわライスターミナル精米棟」の第一期工事では、昨年4月6日に一般競争入札を行い、落札業者は株式会社サタケと決まり、9月21日の建築確認申請許可のもと、精米棟と品質管理棟の建設工事が計画通り進められ、概ね本年7月より精米工場の稼働開始を予定しております。また、本年開始予定の第一期工事では、国の補助事業「農産物等輸出拡大施設整備事業」の交付が認められ、施設本体であります「乾燥調製棟」や「貯蔵サイロ」の工事開始に向けて、現在、準備を進めており来年7月下旬の完成に向けて工事を進めて参ります。この施設建設の財源では、国費はもとより東川町より多大なるご支援を賜りましたこと、改めて厚くお礼申し上げます。今後、町民や町内事業者への精米直売事業も含め、引き続き、お力添えいただきますよう、お願い申し上げます。また、東川米関連施設建設委員会や青年部、女性部、各生産組織の皆様方には、幾度も会合を重ね、施設建設や運営のルールづくりなどを担っていただき、組合員や地域住民への説明会においてもご協力をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

令和5年度も当地ブランドの「東川米」「ひがしかわサラダ」を中心に、「国内外で高く売れる東川産農産物」への販売力強化をめざし、ホクレンや取引先各位のご協力を得て、様々なブランディング強化につながる取

り組みも新たに実施いたしました。令和5年度の販売事業における東川米や豆類などの取扱高は、2,259,731千円と当初計画を上回る結果となりましたが、青果物取扱高では、ブロッコリーやスイートコーンなどの露地野菜の減収が大きく響き、受託品・買取品トータル876,027千円と厳しい結果となりました。

こうした状況下、令和5年度の決算につきましては、野菜集出荷場や旧整備工場の資材倉庫化による改修費用などもあり、事業管理費は計画を上回りましたが、税引前当期純利益は222,560千円、税金を差し引いた後の税引後当期剰余金206,665千円の実績となりました。繰越剰余金、目的積立金取崩後の当期未処分剰余金は260,355千円となり、その処分方法については、後ほど、組合員の皆様にお諮りいたします。

また、金融機関として、財務健全性を示す指標の自己資本率は26%となり、引き続き高い安全性を確保することができましたこと、組合員ならびに利用者皆様の多大なご理解とご協力に重ねてお礼申し上げます。

令和6年度事業計画のご提案では、これからの本町農業の道標となる「第17次東川町農業振興計画」と「第19次JA中期経営計画」の3か年計画をスタートいたします。この計画の基本目標は、「魅力あふれる産地づくりと持続可能な東川農業の実現」とし、サブ目標は、当JAの「総合事業はより良い地域社会を実現させるために」として、組合員の皆様と共に各種事業を展開して参りたいと思っております。

「ひがしかわライスターミナル精米棟」は、本年7月から稼働いたしますが、日本初となる高度衛生機能性米ラインを導入し、東川米の精米商品は、「高度衛生良質米」として輸出事業の主力商品となる一方、栄養価を残す「機能性健康米」として、町民はもちろんのこ

全国の消費者の食卓へ届けられる事業を展開して参ります。

農地再編整備事業による水田大区画化と、スマート農業技術の積極的な導入に、この「ひがしかわライスターミナル」が新しく加わり、東川農業は新時代を迎えることになりました。

これからも組合員をはじめ、地域住民にご利用して満足していただく総合事業を展開するとともに、「ひがしかわ農業の応援サポーター」であります組合員加入への推進を強化させ、常にJAを利用することにより満足できる事業の提案のもと、「地域と歩み続ける」JAひがしかわを念頭に置きながら、令和6年度事業計画、ならびに3か年計画をご提案させていただきます。

また、先ほど、樽井会長からもお話がありました、現ホクレン代表監事の東野秀樹さんですが、私は彼とは青年部時代に、上川・全道で活動を共にした盟友であり、この上川管内から農業者代表として全国でご活躍していただける方だと、自信をもって皆様にお伝えいたします。

本日の議案終了後には、このことによる決議を行いますので、組合員の皆様方のご理解とご協力を重ね重ねお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が農作物全般にわたって豊穡の秋が迎えられることを切に願ひ、あわせて本日出席の皆様のご健勝を心よりご祈念も申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年度 経営所得安定対策交付金【産地交付金等】

※現在、国・道と協議中のため今後変更の可能性あり

取組要件無
(予定額/10a)

水田 活用 米穀	加工用米	【コメ新市場事業】 ●30,000	【全道枠①】 ●3,000	【全道枠②】 ●10,000	【全道枠③】 ●15,000	【全道枠④】 ●5,000	【地域枠⑤】 ●8,000	【地域枠⑥】 3,000	55,000 ~				
	飼料用米	収量に応じ、55,000~105,000 (●標準単価 75,000)						【全道枠⑥】 ●15,000	【全道枠⑦】 ●5,000	【地域枠⑧】 ●8,000	【地域枠⑨】 3,000	98,000 ~	
	米粉用米	収量に応じ、55,000~105,000 (●標準単価 80,000)						【全道枠⑩】 ●15,000	【全道枠⑪】 ●15,000	【全道枠⑫】 ●5,000	【地域枠⑬】 ●8,000	【地域枠⑭】 3,000	118,000 ~
	新市場開拓用米	【コメ新市場事業】 ●40,000	【全道枠⑯】 20,000	【全道枠⑰】 10,000	【全道枠⑱】 ●15,000	【全道枠⑲】 5,000	【地域枠⑳】 20,000	【地域枠㉑】 10,000	【地域枠㉒】 3,000	80,000 ~			
野 菜	重点施設野菜	【地域枠①(価格固定)】 ●70,000							【地域枠②】 3,000	70,000 ~			
	重点露地野菜 ブロッコリー	【地域枠③(価格固定)】 ●40,000					【地域枠④】 3,000		40,000 ~				
	露地ねぎ	【地域枠⑤(価格固定)】 ●38,000					【地域枠⑥】 3,000		38,000 ~				
	主要野菜 未成熟とうもろこし	【地域枠⑦(価格固定)】 ●20,000	【地域枠⑧】 3,000							20,000 ~			
	未成熟とうもろこし以外	【地域枠⑨】 ●15,000								~15,000			
地力作物	【地域枠⑩】 ●15,000	※翌年度に振興作物(水稲(非主食用米)、野菜)を作付することを条件とする。								15,000			
大豆	●35,000	面積払い ※1 ●20,000	数量払い ※2	【地域枠⑪(追加枠)】 ●20,000		→【地域枠⑫】白大豆のみ助成 ※取組要件設定(3,000円/10a以内)			55,000~				
そば	面積払い ※1 ●13,000	数量払い ※2							33,000~				
飼料作物	●10,000	収穫のみの場合							10,000				
	●35,000	播種~収穫の場合							35,000				
その他作物	→地域の振興作物に対して、より重点的に支援していくことが必要であることからR6より廃止								R6~廃止				

※1 面積払い 当年産の作付面積を生産面積として支払う。
 ※2 数量払い 出荷数量確定後、面積払いの金額を差し引いた額を支払う。(面積払い申請者は基準単収の1/2に満たない収量の場合、理由書が必要)
 (※1、2いずれも交付対象者が認定農業者等に限定される。)
 (参考) 基準単収 大豆 136kg/10a そば 70kg/10a

【地域枠 地域協議会配分単価 (上限金額)】

①重点施設野菜振興加算	70,000円/10a	重点施設野菜の作付及び出荷に対し助成します。
②重点露地野菜振興加算	40,000円/10a	重点露地野菜(ブロッコリー)の作付及び出荷に対し助成します。
③重点露地野菜振興加算	38,000円/10a	重点露地野菜(露地ねぎ)の作付及び出荷に対し助成します。
④主要野菜振興加算	20,000円/10a以内	主要野菜(未成熟とうもろこし)の作付及び出荷に対し助成します。
⑤主要野菜振興加算	15,000円/10a以内	主要野菜(未成熟とうもろこし以外)の作付及び出荷に対し助成します。※下限設定(10,000円/10a)
⑥ブロックローテーション取組加算	3,000円/10a以内	令和5年度ブロッコリー作付圃場に未成熟とうもろこし、白大豆の作付及び出荷に対し助成。
⑦地力向上加算	15,000円/10a	地力増進作物に対して助成します。翌年度に地域振興作物の作付を行う作物のみ対象。
⑧そば生産助成	20,000円/10a	適期作業、適切な圃場管理を行ない、良質なそばの生産、出荷に向けた取組に対し助成します。
⑨水田活用米穀品質向上加算	8,000円/10a	非主食用米(輸出用米・資源米を除く)の作付にあたり、東川米GAPに基づく農業の低減化等、品質向上への取組・出荷を行なった農業者に対し助成します。
⑩新市場開拓用米生産助成	20,000円/10a	新市場開拓用米(輸出用米・資源米)の作付及び出荷に対し助成します。
⑪複数年契約加算	10,000円/10a	新市場開拓米を作付けし、出荷する集出荷団体と実需者が複数年契約(3年以上(1年目かつコメ新市場開拓等促進事業対象面積に限り))を結んでいる場合に対し助成します。
⑫振興作物規模拡大加算	3,000円/10a以内	令和5年度から産地の振興作物作付の増加面積に対し助成します。 ※下限設定(1,000円/10a)

○支援品目 ※今後一部変更可能性有。
 【重点施設野菜】：大玉トマト、ピーマン、軟白長ねぎ、ミニトマト
 【重点露地野菜】：ブロッコリー、露地ねぎ
 【主要野菜】：未成熟とうもろこし、キャベツ、ほうれんそう、チマサンチュ、みつば、レタス、パセリ、ハーブ、小松菜、春菊、大根、かぼちゃ、わさび菜、にんじん
 【ブロックローテーション取組加算】：未成熟とうもろこし、白大豆 ※前年ブロッコリー作付した圃場のみ対象

令和6年度「東川町恵みの田園づくり支援事業」抜粋

科目	助成率(%)	備考	
基盤向上対策 振興作物規模 拡大支援事業	30	内容 水稲面積拡大に伴う水稲育苗施設(ハウス)費 ※増加面積にもとづき助成額を算出 目的 「生産の目安」の維持と、需要に応える水稲規模(面積)拡大に向けた振興(ブランド維持) 対象者 町内水稲生産者 要件 前年度と比べ、水稲作付面積が増加している生産者	
		50	内容 水稲ハウス有効活用資材費(ヤシガラ培地・液肥混入機・配管設備等)助成 目的 水稲育苗後の「隔離栽培」方式による施設重点作物の作付け拡大 対象者 町内野菜生産者 要件 前年度と比べ、野菜作付面積が増加している生産者
			20
	10	内容 重点施設野菜(大玉トマト・ミニトマト・ピーマン・軟白長ねぎ)、重点露地野菜苗(ブロッコリー・露地ねぎ)の苗代(JA委託分)に対し助成 目的 重点施設、重点露地野菜の作付け面積維持・拡大 対象者 重点野菜生産者	
		10	内容 ブロッコリー機械収穫委託作業料・徐礫機械委託作業料助成 目的 省力化に向けた機械作業委託の振興 対象者 町内生産者
	10		内容 水稲の省力化技術(高密度播種)導入に係る資材(育苗箱)に対し助成 目的 省力化に向けた技術の振興 対象者 町内水稲生産者 要件 前年度と比べ、水稲作付面積が拡大している生産者
			20
	30	内容 施設(遮光ネット・循環扇・ミスト噴霧装置・自動巻上機)、露地(灌水装置一式)費用助成 目的 異常気象による被害対策 対象者 町内生産者 要件 上限金額：300千円	
		50	内容 堆肥購入費・ハウス内散布委託費 目的 水稲・野菜等、品質・所得向上に向けた土づくり 対象者 JA組合員・准組合員
	20		内容 スマート機器(タブレット)購入に対する20%の助成を講じる 目的 JAコネク、生産履歴システムの普及拡大による作業効率化、外郭組織などの会議におけるコスト削減(ペーパーレス)に向け、タブレット導入に対する助成 対象者 町内生産者 要件 上限金額：生産者1名当り1機、20,000円

早期発見、早期治療のために 人間ドックを受診しましょう！

ご家族、大切な方のために、そして何よりご自身のために受診をおすすめします。
■旭川厚生病院「人間ドック」予約状況

2024年6月						
日	月	火	水	木	金	土
						1 ×
2 ×	3 ×	4 ○	5 ○	6 ×	7 ×	8 ×
9 ×	10 ○	11 ×	12 △	13 ×	14 ×	15 ×
16 ×	17 ○	18 ○	19 ○	20 △	21 △	22 ○
23 ×	24 ○	25 ○	26 ○	27 ×	28 ×	29 ○
30 ×						

2024年7月						
日	月	火	水	木	金	土
	1 ○	2 ○	3 ○	4 △	5 △	6 ×
7 ×	8 ×	9 ○	10 ×	11 ×	12 ○	13 ×
14 ×	15 ×	16 ○	17 ○	18 ○	19 ○	20 ×
21 ×	22 ○	23 ○	24 ○	25 ○	26 ○	27 ○
28 ×	29 ○	30 ○	31 ○			

正組合員（本人・同居家族）
准組合員限定
人間ドック検診費用助成
厚生病院での一般受診料金
44,000円が
31,900円に!
※オプション検査は助成対象外

男性：月曜日・水曜日・金曜日、女性：火曜日・木曜日
予約表の見方：○10名以上の空き △残りわずか ×予約が埋まっています
お申込み順となるためご希望日が埋まっている場合もございます。
人間ドックの申し込みや、お問い合わせは営農企画課（Tel82-2124）まで

営農指導対策協議会よりお知らせ

農業用廃プラスチック処理 受入れのご案内

フレコンのみ **木** フレコン・バラ受入 **金**


6月20日~21日

■場所:キトウシの森 第2駐車場 西5号北41番地

時間 9:00▶12:00 13:00▶15:00

農業を行う上で使用済みとなった農業用プラスチック類は、産業廃棄物として適正に処理することが法律で定められております。違反した場合は、懲役や罰金が課せられる可能性もありますので、下記の通り必ず分別し搬入してください。

ビ 農業用ビニール
ハウス・トンネル用被覆ビニール



- ・「農ビ」のマークが印刷されている。
- ・引き裂きにくくひっぱり箇所が透明。劣化した物はバリバリしている。

ポ 農業用ポリエチレン
マルチフィルム・肥料袋・農業ポリ容器・ハウスバンド・灌水チューブ（ゴム製不可）



- ・「農PO」「農PE」「ノポリ」のマークが印刷されている。
- ・引っ張ると波を打って白くなる。

空 空容器等
空ボトル・空袋（紙・プラ）
アルミ内装紙袋は、農業容器に分類します。



※農業容器等のボトルは3回以上洗い流し、袋（紙、プラ）は中身を空にしてから持ち込んでください。

★フレコン袋に「ビ」「ポ」「空」と記入して分別してください★

○ 受入可能なもの

- スイコータンク
- チューブ
- 塩ビ管
- 育苗箱

複数ある場合は、搬入時にばらけてしまわないように、ビニール紐などで束ねてお持ちください。

× 回収不能なもの

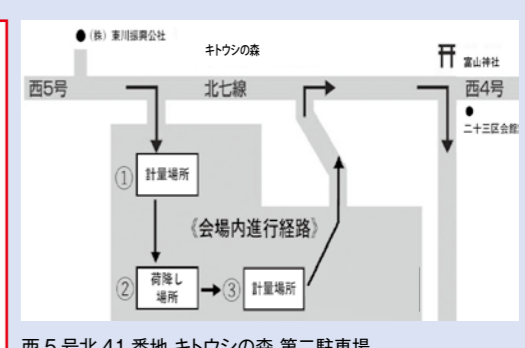
- 蛍光管
- 瓶
- 長靴

金属類、ゴム類（ゴムホース等）も受入れできません。



注意

- ※泥や水が付着しているとその分重量が増加し料金が上がってしまいますので、落としてから搬入してください。
- ※金属類・ゴム類（ゴム手袋・ゴムホース等）・蛍光管・ライター等は受入れできません。
- ※金属片・石等の混入があった場合、機械故障の原因となり、損害賠償の懸念もありますので、除去の徹底をお願いいたします。
- ※走行中、道路に落下しないよう荷崩れ防止に十分ご注意ください。



料金は、決定次第お知らせいたします。
お問い合わせ JAひがしかわ営農企画課(Tel82-2124)

令和6年度 新入組職員を紹介します!



士別市出身
購買部 機械燃料課
おつか ようすけ
大塚 遼介

JAひがしかわの職員として皆様のお役に立てるよう、1日でも早く仕事を覚え、日々、一所懸命取り組んで参りますので、ご指導のほど、よろしくお願い致します。



旭川市出身
管理部 経理課
まつもと なつみ
松本 夏美

日々多くのことを吸収しながら、仕事を覚え一杯努力をし、皆様にご貢献できるよう取り組んで参りますのでご指導のほどよろしくお願い致します。



東川町出身
管理部 管理課
すぎもと れい
杉本 玲偉

今まで培ってきたものを新しい環境で発揮していき皆様のお力に少しでもなれるよう努めていきます。まだ慣れないことがたくさんありますが一日一日を大切に精一杯取り組みますので、ご指導のほど、よろしくお願い致します。

■中途採用



営農販売部
米穀施設課
くまざき えみ
熊崎 栄美



営農販売部
米穀施設課
すがわら あゆみ
菅原 あゆみ



営農販売部
米穀施設課
じん けいぞう
神 啓三

2024年 5月の予定

- 1 水
- 2 木
- 3 金 憲法記念日
- 4 土 みどりの日
購買指導課営業日 8:30~12:00
- 5 日 5の付く日(スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
こどもの日
- 6 月 振替休日
購買指導課営業日 8:30~12:00
- 7 火
- 8 水
- 9 木
- 10 金
- 11 土 休日ローン相談会
購買指導課営業日 8:30~12:00
- 12 日
- 13 月
- 14 火
- 15 水 5の付く日(スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
- 16 木 御田植祭
- 17 金
- 18 土 購買指導課営業日 8:30~12:00
- 19 日
- 20 月
- 21 火
- 22 水
- 23 木
- 24 金
- 25 土 5の付く日(スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
購買指導課営業日 8:30~12:00
- 26 日
- 27 月
- 28 火
- 29 水
- 30 木
- 31 金

2024年 6月の予定

- 1 土 購買指導課営業日 8:30~12:00
- 2 日
- 3 月
- 4 月
- 5 火 5の付く日(スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
- 6 水

理事会の動き

第4回 理事会 日程：令和6年4月8日(月)

【議決事項】

- 議案 1号 第101回通常総会 追加決議について
- 議案 2号 規程の変更について
- 議案 3号 固定資産の取得について
- 議案 4号 理事者の利益相反取引について
- 議案 5号 令和6年度農家経済再建指導農家について
- 議案 6号 第3回組合員ふれあい祭り 実行委員会の設立について
- 議案 7号 労働組合からの春闘要求について

第5回 理事会 日程：令和6年4月12日(金)

【議決事項】

- 議案 1号 理事者の公式席順(案)について
- 議案 2号 特別委員会委員の選任について
- 議案 3号 関係団体等にかかる外部役員等の兼職ならびに組織推薦(案)について
- 議案 4号 役員報酬の個別支給額の決定について

金融課からのお知らせ

休日ローン相談会を開催します

住宅の購入やリフォーム、自動車購入や教育資金のお借入を考えている方は、ぜひこの機会にご来店ください！

日時：令和6年5月11日(土) 9:00~14:00(休憩時間12:00~13:00)

場所：東川町西町1丁目5番1号 JAひがしかわ金融課 融資コーナー

相談時間確保のため予約制とさせていただきます。
ご予約は、金融課(TEL82-5010)までお気軽にご連絡ください。

農協文庫 新刊



東京農業大学グリーンアカデミーに教わる写真でよくわかる初めての野菜づくり



奇跡の花を長く 絵本のように美しい宿根草の小さな庭づくり楽しむ



不調の原因とセルフケアがよくわかる やさしい漢方 未病の地図帖



小学生の野菜づくりブック



お茶でかんたん 飲む薬膳



わたしが元気なのは これを食べているから



インテリアグリーン

JAひがしかわ事務所前エントランスにて展示しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

●葬儀・法要のご用命は…24時間フリーダイヤル

JA事業推進係 0120-82-2125へ